

神明の利益を蒙ること

信力の厚薄に依るとなり

「倭姫命世記」

今月のことば

神明の利益を蒙ることは
信力の厚薄に依るとなり

—倭姫命世記—

信仰心とは神を信ずることの深いか浅いかによつて、
その結果に差がある。神のお言葉を、又神の行為は見
習ふべきものであつて、これを神習ふ以外に、自分の
生きる道はないのだと、これを絶対に信じ、実行する
ものと、さうでなく、一通りの信仰心しか持たないも
との差は、後になつて、その人のすべてに亘つて大き
きな差のあることは、幾多の実例によつて示されてゐ
る。信仰に生きる人、信仰によつて生かされてゐる人
は、幸福な人だといへる。

神が、かうすることが一番幸せなのだと教へられて
ゐるなら、その通り、実行する以外に、自分の生きる
道はないのだとして、毎日、どこでも、その言葉通り
に生きる。若しも、それが神のご利益だとするなら、
神の言葉によつて、生かされてゐる自分を見出すこと
は、信仰上、最も幸福であり、そこに神のご利益が溢
れて出てゐるといへよう。

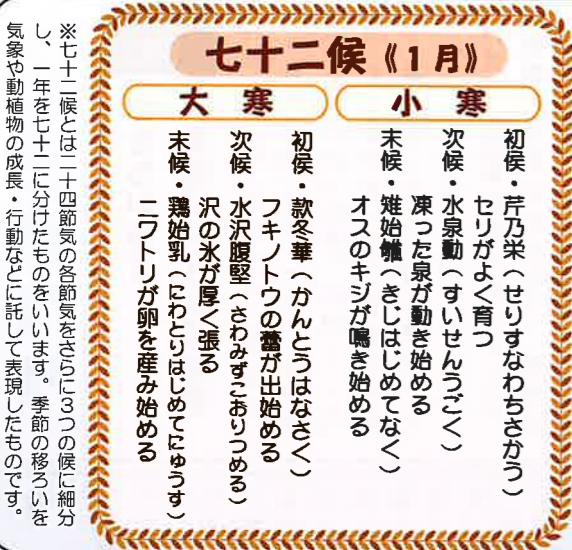
【むつき】令和7年1月
新しい年を一家の人々で仲よく迎
える月という意味で、睦には「むつ
み・すなわち「なかよく親しみあう」
の意味があります。
発行：北海道神社庁一区教化委員会

睦月

令和7年
2025年

1月

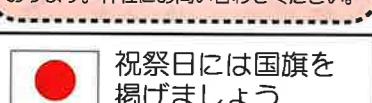
日	月	火	水	木	金	土
《1日 元日》 年のはじめを祝う日です。		1 先勝 元日 歳旦祭	2 友引 皇居一般参賀	3 先負 元始祭	4 仏滅	
《13日 成人の日》 大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます日です。		5 大安 小寒	6 赤口	7 先勝 昭和天皇祭 七草 一粒万倍日	8 友引	9 先負
12 赤口	13 先勝 成人の日 三りんぼう	14 友引	15 先負 小正月	16 仏滅	17 大安 土用	18 赤口
19 先勝 一粒万倍日	20 友引 大寒	21 先負	22 仏滅 一粒万倍日	23 大安	24 赤口	25 先勝 三りんぼう
26 友引	27 先負	28 仏滅	29 先勝	30 友引	31 先負 一粒万倍日	
ひつじ	さる	とり	いぬ	る	ね	



安産祈願 1月の戌の日
5日(日)
17日(金)
29日(水)

*戌の日以外でも安産祈願のご奉仕を
あります。神社にお問い合わせください。

祝祭日には国旗を
掲げましょう



【小寒 しおつかん】…五日
すでに本格的な冬の季節で、寒風と降雪に
悩まされます。

【大寒 だいかん】…二十日
ますます極寒の辛苦にさいなまれる季節で
すが、春はもうすぐ間近にせまっています。

六曜・選日

二十四節氣

【小寒 しおつかん】…五日
【大寒 だいかん】…二十日
【立春】…二十日
【雨水】…廿二日
【惊蟄】…廿四日
【春分】…廿四日
【清明】…廿五日
【立夏】…廿九日
【小滿】…三十日
【芒種】…廿九日
【夏至】…三十日
【小暑】…廿八日
【大暑】…廿九日
【立秋】…三十日
【白露】…廿九日
【秋分】…三十日
【寒露】…廿九日
【霜降】…三十日
【立冬】…廿九日
【小雪】…三十日
【大雪】…廿九日
【冬至】…三十日
【小寒】…廿九日
【大寒】…三十日

国旗「日の丸」 をかかげましょう

国旗「日の丸」をかかげましょう

国旗「日の丸」は朝日(昇る太陽)

を象徴し、円満を意味しています。

稻作を中心に行なっているところ

先は、太陽の恵みに感謝してしま

た。また古来、国号を「日の本」

と呼んでいたことにも深い関係

があります。さらに「日の丸」の赤

は、明るさや情熱、勢い、誠を、白

は清らかさや純粹、潔白を表してい

ると言われます。これは清明心を尊

んだ日本人の精神性とも合致しま

す。

尚、神社によつては、一社の故実によ

り異なる作法をおこなつてゐるところ

もあり、伊勢の神宮の神職がおこなう

手をして、軽く会釈をしてから下がり

ます。右手を戻して両手を合わせ、こ

で祈願をします。最後にもう一度九十度

折り、拍手は両手を胸の高さに合わせ、

左手にもかけます。そして再び持ち替えて、

左の手のひらに水を受けて、口をすすぎ

ます。最後にもう一度左手で水を流しま

す。

拝殿の前に進み軽く一礼してから、賽

錢を入れ、鈴があるなら鈴を鳴らして、

かけ清めます。次に柄杓を持ち替えて右

手にもかけます。そして再び持ち替えて、

り道だからです。

鳥居からぐりますがこのとき、軽く

一礼します。参道は中央を歩かないよう

にしまします。道の真ん中は、神様の通

り道だからです。

境内に入ったら手水舎で清めをします。

右手に柄杓を取つて清水に汲んで左手に

に供えるための「お節」料理でした。

なかでも正月がもっと重要な節供

という事から、正月料理に限定して

いうようになりました。

「おせち」は、もともとは季節の

変わり目の節供(節句)に、年神様

に供えるための「お節」料理でした。

神様に供える御節供

御節

おせち料理は

神様に供える御節供

季節のまつり

Q、お参りの作法を教えてください



鏡開
一月十一日
お供え餅で開運

正月の間お供えしていた鏡餅をお
さげしておしるこにして食べる行事
です。鏡餅は刃物を使わないのがし
かりで、手や木槌で割るため切る
と言わずに運を「開く」という意味
をこめて鏡開きと言います。

せいけんかっくん 清廉恪勤

心が清くて私欲がなく、
まじめに一生懸命勤める
こと。



鳥居からぐりますがこのとき、軽く
一礼します。参道は中央を歩かないよう
にしまします。道の真ん中は、神様の通
り道だからです。

境内に入ったら手水舎で清めをします。

右手に柄杓を取つて清水に汲んで左手に

に供えるための「お節」料理でした。

なかでも正月がもっと重要な節供

という事から、正月料理に限定して

いうようになりました。

「おせち」は、もともとは季節の

変わり目の節供(節句)に、年神様

に供えるための「お節」料理でした。

神様に供える御節供